

## 地域福祉活動計画素案に対するパブリックコメントのまとめ

(意見募集期間：平成 23 年 6 月 15 日～6 月 30 日)

No.	該当の箇所	意見等の概要	意見に対する考え方	計画への反映
1	—	地域福祉活動計画が分厚い冊子になってしまいしっかり読んでいただけるかが心配です。	策定された地域福祉活動計画は、全戸に配布する予定です。配布に当たっては、この計画の説明文を添付し、社協広報「あづみん」、社協ホームページでも配布することを事前に周知します。 また全戸配布後、各地域において懇談会を開催するなどして、その内容を説明させていただくこととしています。	計画書内容には変更ありません。
2	第3章 19頁 (⑧校では22頁)	総合相談支援体制の構築に関して、素晴らしいと思います。 また「ワンストップ」という言葉には、いわゆる「福祉110番」的な要素も含まれていて良いかと思います。	安曇野市社協では、地域住民の方から相談のあった生活課題に対し、とにかくどのような課題でも受け止めていきます。 その上で、解決に最も近い窓口に正確につながっていくことができるようにしていきます。	計画書内容には変更ありません。
3	第3章 19頁 (⑧校では22頁)	総合相談支援体制を表した、この頁にある図表を更に図案化し、表紙にしてみたらどうでしょうか。 読者の目を引きつけるという意味でもインパクトのある表紙にしてみてもいいでしょうか。	今後の具体的なデザイン・編集作業に向けていただいたご意見を参考にさせていただきます。	計画書にどのように反映させることができるか検討します。

No.	該当の箇所	意見等の概要	意見に対する考え方	計画への反映
4	第4章 豊科地域 計画	第3章に示されている総合相談窓口の「ワンストップ」の内容が、豊科地域の活動計画中の分類「A-2-(1)」と「C-1」に何らかの文言で出てきても良いと思いますが。	<p>「A-2-(1)」の課題に対して、解決策は相談体制の整備が主なものとなっています。文中では、相談をつなぐ先が「社協」となっていますが、これを例えば「総合相談窓口のある社協」などというように改めます。</p> <p>「C-1」の課題については、「ワンストップ」という直接的な文言は出てきませんが、必要な情報の提供を行政やサービス事業者が行うよう促すとともに、サービスの使い方が分からない人たちに、適切な情報を提供できる総合相談支援体制の構築を目指します。</p>	計画書へ反映させるようにします。
5	第4章 各地域 計画	各地域の計画書の実施主体欄が現在「実施主体（協力依頼先）」と表記されているが、「協力依頼先」の括弧（ ）は要らないのではないのでしょうか。	ご指摘のとおりです。括弧を削除し、同列の扱いで併記するように改めます。	計画書へ反映させるようにします。